



図4 メール上のアドレスはクリックするだけでよい



図5 遊び感覚のメールソフト“ポストペット”

メールは書類も運んでくれる

メールには文字だけでなく、画像ファイルや音楽ファイル、ムービーファイル、プログラムなどを添付することができます。

送られてきたメールに添付書類があるときは図3のようにクリップのマークがついています。

クリップマークをクリックすれば自動的にその添付書類を開いてくれます。

添付書類が音楽でもビデオクリップでも表計算やプログラムでも同様に添付して送ることができます。

あまり大きな画像やムービーは送受信に時間がかかりますが、アドレスがあれば国内外を問わずどこでも、同じ料金で（プロバイダーまでの電話料金、あるいは専用線ならばわずかな電気料金だけ）で送れてしまうのです。相手が作事中であろうとも、就寝中であろうとも、外出中でもOKです。いま流行のモバイル機器があれば、どこでもメールを送受信できますし、文書の保存に場所を取りません。

アドレスはタイプしなくてもいい

せっかくメールやインターネットのアドレスを教えてもらっても、いちいちタイプ打ちするのは面倒です。メールに書かれたインターネットのホームページアドレスは図4（白黒印刷で小さいのでわかりづらいですが）のように他の文字と違う色（青色が多い）で表示されています。そこにポインターの矢印をもっていく

と、自動的に指のマークになります。そこでマウスをクリックすればインターネットエクスプローラやネットスケープのようなブラウザが起動し、そのページを開いてくれます。アドレスはその都度入力しなくてもいいのです。もちろんメールを出すときもアドレスを一度アドレス帳に登録しておけば、その人の名前を選ぶだけで自動的に宛先に設定してくれます。

返事を書くときも返信ボタンをクリックすれば自動的にその人宛の返信便箋を作ってくれます。

ポストペット

また、もっと遊び感覚なポストペットというメールソフトもあります。これは画面上で飼っている犬や熊、ロボットなどのかわいいペットがメールの管理をしてくれるのです（図5）。

ペットには名前をつけたり、おやつをあげたり、洗ってやったり、パソコンのなかでペットを飼っているような感じで楽しみながらメールのやり取りができます。いらぬメールはヤギが食べてくれます。また、あまりペットの面倒をみないと、いたずらメールを送ったりもします。

このようにメールは、若者の世界からどんどん浸潤しています。熟年先生にとって親子の意思の伝達や友人との情報交換に、また後輩のよき相談相手にと、あなたを繋げるもっとも効果的な手段となりうるのではないのでしょうか。

次号は最終回「情報は毛細血管を流れる」です。